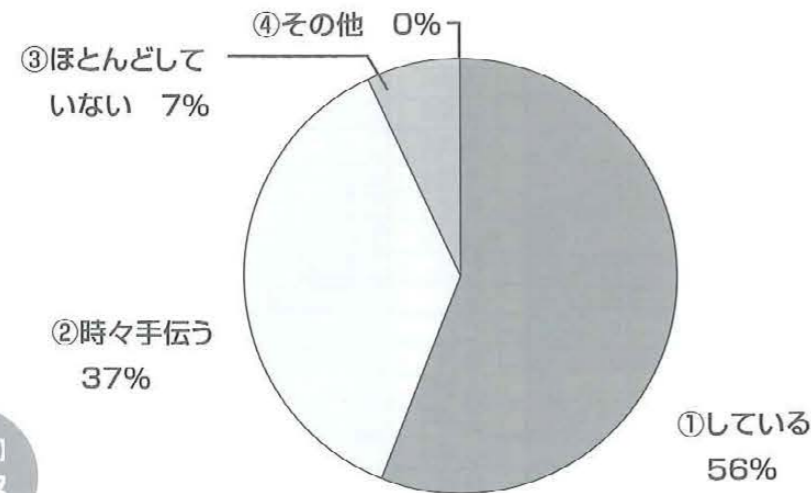


全国アンケート結果について

「第51回全国国公立幼稚園PTA全国大会 鳥根大会」の開催にあたり、現代の子育ての問題を出雲神話に照らし合わせ、古代出雲民族の思想や習慣や理念からそのあるべき姿を模索したいと考えました。そこで、全国PTA会員の皆様に下記のようなアンケートを実施し回答をいただきました。その結果をご報告いたします。

会員総数 181,277人 回答者数 150,784人 回収率 83.2%

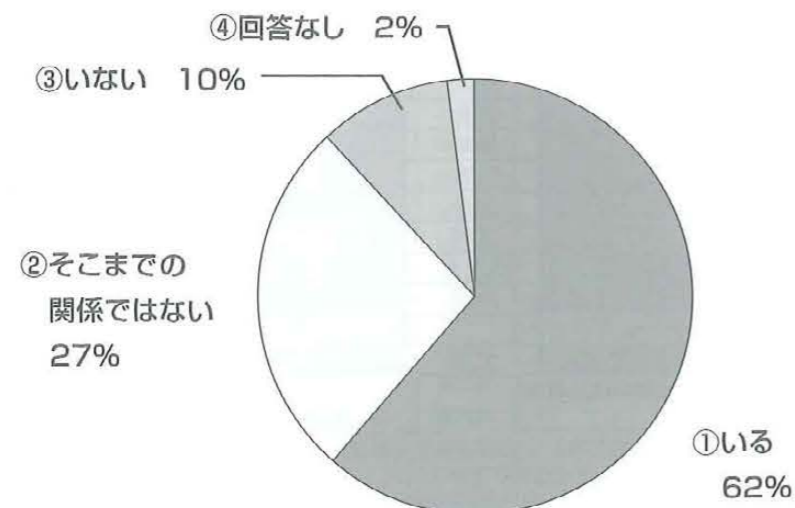
設問1. お母さん以外の方が子育てに積極的に参加していますか？



【設問1】 考察

- ・ 母親以外の方が積極的に子育てに参加している家庭が半数以上あり、時々手伝うという家庭を合わせると90%以上の家庭が母親以外の人の援助をもらいながら子育てをしていることが分かる。
- ・ 核家族化が進んでいる中で多くの家庭が協力し合って育児をしているという結果になったのは、従来の祖父母等の援助数に父親の育児参加数が大きく加わったからだと思われる。子育ての情報が多く発信され、子育ては母親だけがするものではないという風潮が広まり、父親への育児参加が期待されるようになってきた証ではないか。

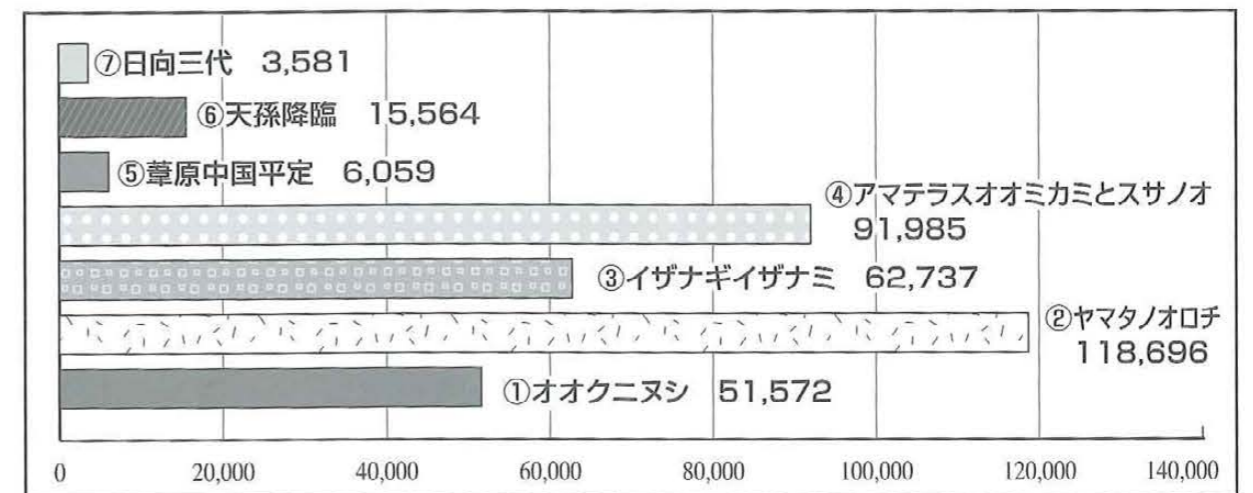
設問2. 必要な時に子育ての相談又は子どもを預けられるような親しい人が近くにいますか？



【設問2】 考察

- ・ 子育ての相談をしたり、子どもを預けたりできる人がいるという答えが60%を超えており、この保護者は心身共にサポートがあることが分かる。お母さん友達の存在、地域や子育て支援センター等の援助が大きいと思われる。また、幼稚園や相談機関も保護者の相談を受け止める大切な存在となっているのではないかとと思われる。
- ・ 「そこまでの関係ではない」「いない」の回答は合わせると40%弱になる。転勤等でなかなか親しい人や悩みを相談することができにくい状況や保護者自身のコミュニケーション不足が予想される。今後も、親子で孤立することがないように園から声掛けをしたり保護者の仲間作り活動を計画したりすることが必要である。また、地域からも見守ってもらえるよう、地域への働きかけやきっかけづくりも大事になっていくと思われる。

設問3. 古事記にちなんだ神話(名前だけでも)を知っていますか？



【設問3】 考察

- ・ 知っているとの回答が多かったのは
1番. ヤマタノオロチ(118,696人・回答者の78.7%)
2番. アマテラスオオミカミ(91,985人・回答者の61.0%)
3番. イザナギ・イザナミ(62,737人・回答者の41.6%)でした。
この3つの神話は全国的に地域の偏りなく知られていた。出雲国の地域・自然に彩られた神話が全国で読み語り継がれていることが分かり、開催地の出雲人として誇りに感じた。また、オオクニヌシは、鳥取、島根県ではアマテラス以上に知られており、出雲大社の神様として地域に根ざした神話となっていることが分かった。このように古くから神話が読み語り継がれているのは、登場する神々のたくましい生き方が普遍的な「教え」として、脈々として地域に受け継がれてきた証であり、現代の子育てにもつながっていくものと考えられる。
- ・ 大自然の中で生きることの厳しさや勇気・智恵の大切さを子ども達に伝える神話をこれからも子ども達に伝えていきたい。そして、子育てに対しても地域をあげ、みんなで声を掛け合いましょう、一緒に育てましょうというつながりが生まれるように「縁」を大事にしていきたいものである。その中で子どもは、豊かに育つのではないかとと思われる。